小学校・中学校用質問紙

|  |
| --- |
| 学　校　名： |

※学校名は公表しません。書かなくても結構です

校　　　種：小学校　・　中学校　・　その他（　　　　　　　　　）

児童生徒数：１年・　　　　人　　２年・　　　　人　　３年・　　　　人

４年・　　　　人　　５年・　　　　人　　６年・　　　　人　　計・　　　　人

回　答　者：（　校長　・　教頭　・　教員　）

１．貴校では、ＮＩＥ活動として、どのような活動をしていますか。（選択肢に○を付けてください、以下同）

※複数回答可

　　ア（　　）新聞記事を教師が活用　　　　　イ（　　）新聞記事を児童・生徒が活用

ウ（　　）記者講演　　エ（　　）新聞社見学　　オ（　　）新聞の構成や編集などの機能を学ぶ

カ（　　）コラムの書き写し　　　　　　　キ（　　）ＮＩＥタイム　　ク（　　）新聞スクラップ

ケ（　　）新聞社のデータベースの活用　　コ（　　）縮刷版の活用

サ（　　）学習新聞づくり　　　　　　　　シ（　　）学級・学校新聞づくり

ス （　　）新聞紙を紙として図工等で活用　セ（　　）その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２．貴校では、ＮＩＥをどの程度実践していますか。

　　ア（　　）日常的に実践している。（全員の子供が、週1回以上、新聞を読んだり、新聞を作ったりする）

　　イ（　　）月に1、2回程度、実践している。

　　ウ（　　）2、3か月に1、2回程度、実践している。

　　エ（　　）年に数回、実践している。

３．貴校でＮＩＥを実施している規模をお答えください。

　　ア（　　）学校全体で実施している。

　　イ（　　）複数学年で実施している。（学年：　 　年・　 　年・　 　年・　 　年・　 　年・　 　年）

　　ウ（　　）学年で実施している。　 （学年：　　 年のみ）

　　エ（　　）学級単位で実施している。（学年・学級数：　　　　年・　　　　学級）

　　オ（　　）その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

４．貴校がＮＩＥを実施している期間（2016年４月時点）について、お答えください。

　　ア（　　）ＮＩＥを始めて、２年以上。

　　イ（　　）ＮＩＥを始めて、１～２年未満。

　　ウ（　　）ＮＩＥを始めて、６か月～１年未満。

　　エ（　　）ＮＩＥを始めて、３～６か月未満。

　　オ（　　）今年度、ＮＩＥを始めたばかりである。または、まだ始めていない。

５．ＮＩＥ実施後の変化等について、以下の項目について、当てはまるところに○をお付けください。また、お気付きの点がありましたら、以下の欄に文章でお答えください。

A：教員の実践の程度

ア（　 ）積極的に実践した イ（　 ）実践した ウ（　 ）ほとんど実践しなかった エ（　 ）実践しなかった

B：教員の指導力の変化

ア（　　）大幅に伸びた　　イ（　　）伸びた　　ウ（　　）少し伸びた　　エ（　　）変化はなかった

C：児童・生徒の意識・行動の状況

ア（　　）新聞を進んで楽しく読んでいる　　　　イ（　　）新聞を楽しく読んでいる

ウ（　　）指示すれば新聞を読む　　　　　　　　エ（　　）新聞を読もうとしない

D :児童・生徒の書く力の変化

ア（　　）書く力が大幅に伸びた　　　　　　　　イ（　　）書く力が伸びた

ウ（　　）書く力が少し伸びた　　　　　　　　　エ（　　）書く力の変化は見られない

E：児童・生徒の読む力の変化

ア（　　）読む力が大幅に伸びた　　　　　　　　イ（　　）読む力が伸びた

ウ（　　）読む力が少し伸びた　　　　　　　　　エ（　　）読む力の変化は見られない

F：児童・生徒のその他の能力等の変化（お気付きの点がありましたらお答えください）

G：保護者の意識

ア（　　）保護者の大きな理解を得た　　　　　　イ（　　）保護者の理解を得た

ウ（　　）保護者の理解はあまり得られなかった　エ（　　）保護者の理解は得られなかった

６．小学校６学年および中学校３学年の学年・学級でＮＩＥを実践している場合に以下の質問にお答えください２０１６年度の「全国学力・学習状況調査」の結果について、回答できる範囲でお答えください。

（１）児童・生徒質問紙の結果について、選択肢の割合（％）をお答えください。※以下（）内は質問紙の質問番号

　*(35)* 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。

　1：当てはまる （　　　　．　　％）　　2：どちらかといえば、当てはまる （　　　　．　　％）

3：どちらかといえば、当てはまらない （　　　　．　　％）　4：当てはまらない （　　　　．　　％）

*(37)* 新聞を読んでいますか。

　1：ほぼ毎日読んでいる（　　　　．　　％）　　　2：週に１～３回程度読んでいる（　　　　．　　％）

3：月に１～３回程度読んでいる（　　　　．　　％）　4：ほとんど、または、全く読まない（　　　　．　　 ％）

*(57)* 400字詰め原稿用紙２～３枚の感想文や説明文を書くことは難しい。

　1：そう思う （　　　　．　　％）　　 　2：どちらかといえば、そう思う （　　　　．　　％）

3：どちらかといえば、そう思わない（　　　　．　　％）　 4：そう思わない （　　　　．　　％）

 *(61)* 国語の勉強は好きだ。

　1：当てはまる （　　　　．　　％）　　2：どちらかといえば、当てはまる （　　　　．　　％）

3：どちらかといえば、当てはまらない （　　　　．　　％）　4：当てはまらない （　　　　．　　％）

 *(64)* 読書は好きだ。

　1：当てはまる （　　　　．　　％）　　2：どちらかといえば、当てはまる （　　　　．　　％）

3：どちらかといえば、当てはまらない （　　　　．　　％）　4：当てはまらない （　　　　．　　％）

 *(70)* 解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。

　1：全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した （　　　　．　　％）

　2：書く問題で解答しなかったり、 解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった（　　　　．　 　 ％）

　3：書く問題は全く解答しなかった （　　　　．　　％）

*(71)* 算数の勉強は好きだ。

　1：当てはまる （　　　　．　　％）　　2：どちらかといえば、当てはまる （　　　　．　　％）

3：どちらかといえば、当てはまらない （　　　　．　　％）　4：当てはまらない （　　　　．　　％）

（２）以下について、答えられる範囲でお答えください。 （学校単位で結果を公表することはありません）

(1)国語Ａ問題の結果について

A：貴校の国語A問題全体の平均点 （　　　　．　　点）

　　B：貴校の国語A問題の「話すこと・聞くこと」の平均点（　　　　．　　点）

　　C：貴校の国語A問題の「書くこと」の平均点 （　　　　．　　点）

　　D：貴校の国語A問題の「読むこと」の平均点 （　　　　．　　点）

　　E：貴校の国語A問題の「言語事項」の平均点 （　　　　．　　点）

(2)国語Ｂ問題の結果について

A：貴校の国語B問題全体の平均点 （　　　　．　　点）

　　B：貴校の国語B問題の「話すこと・聞くこと」の平均点（　　　　．　　点）

　　C：貴校の国語B問題の「書くこと」の平均点 （　　　　．　　点）

　　D：貴校の国語B問題の「読むこと」の平均点 （　　　　．　　点）

　　E：貴校の国語B問題の「言語事項」の平均点 （　　　　．　　点）

(3)算数・数学Ａ問題の結果について

A：貴校の算数・数学A問題全体の平均点 （　　　　．　　点）

(4)算数・数学Ｂ問題の結果について

A：貴校の算数・数学B問題全体の平均点 （　　　　．　　点）

効果測定調査の実施方法

○全国学力テストの平均正答率の変化を比べる

１．ＮＩＥに取り組む前の学校の平均正答率を全国平均と比較し、ポイント差を出す

２．ＮＩＥに取り組み始めて１年、２年、３年と歴年で学校平均と全国平均を比較し、ポイント差を出す

３．取り組み前後でのポイント差の推移を出す（下図参照）



○全国学力テストの質問紙調査から意識の変化を比べる

１．児童・生徒質問紙にある調査項目から、ＮＩＥ実践と関連のありそうな項目をいくつかピックアップする

　　　　例．「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があるか」「４００字詰め原稿用紙２～３枚の感想文や説明文を書くことは難しいか」「解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか」など

２．ピックアップした各項目について、ＮＩＥに取り組む前の学校平均と全国平均とを比較し、ポイント差を出す

３．ＮＩＥに取り組み始めて１年、２年、３年と歴年で各項目の学校平均と全国平均を比較し、ポイント差を出す

４．取り組み前後でのポイント差の推移を出す（下図参照）



※調査用紙には、児童・生徒質問紙からピックアップした７項目を掲載しています。各校で他の項目を追加していただいても結構です。また、学校質問紙の調査項目を加え、教員の意識変化等を比べていただくことも可能です。

以　　上